

USB D/Aコンバーター機能用ドライバーソフトウェア **N-50**

> お取り扱いについてお困りのとき http://pioneer.jp/support/ カスタマーサポートセンター 延0120-944-222 ー般電話 044-572-8102 同躍〜金曜 9:30〜12:00、13:00〜17:00 二曜 祝日・弊社休業日を除きます。) * フリーコールは、携帯電話・PHSからはご利

シリーコールは、携帯電話・PHSからはご利 用になれません。一般電話は、携帯電話・ PHSからご利用可能ですが、通話料がかか ります。



この取扱説明書について

「N-50」には、パソコンに保存された音楽やインターネットによるストリーミングサービス といった音声を高音質に再生するための USB D/A コンバーター機能を搭載しています。 「N-50」とパソコンを USB ケーブルで直接接続することで再生できるのですが、この機能 を使用するためには、専用のドライバーソフトウェアをパソコンにインストールする必要が あります。

この取扱説明書では、ドライバーソフトウェアのインストール方法から困ったときの対処まで、USB D/A コンバーター機能を使うときの情報が記載されています。

パソコンの環境について

本ドライバーソフトウェアをお使いになるには、ご使用のパソコンに USB Rev2.0 HS 対応の USB ポートが搭載されている必要があります。

また、USB D/A コンバーター機能は下記の OS にて動作確認をしています。

- Microsoft[®] Windows[®] XP (32 bit)
- Microsoft[®] Windows[®] Vista (32 bit/64 bit)
- + Microsoft[®] Windows[®] 7 (32 bit/64 bit)
- Mac OSX 10.6 10.7

🖉 メモ

- パソコン側の再生ソフトウェアは、Windows OS 環境では Windows Media Player 11/12 にて動作確認をしています。MAC OS 環境では iTunes 10.4 にて動作確認をしています。
- Digital In USB 入力でパソコンの音楽をお楽しみ頂く場合、パソコンのアプリケーションは 再生ソフトウェアのみ起動して使用することをお勧めします。
- パソコンから出力可能なサンプリングレート / 量子化ビット数は、お使いのパソコンの OS や 再生ソフトウェアのバージョンによって異なります。

Microsoft[®]、Windows[®] Vista、Windows[®] XP は米国 Microsoft Corporation の 米国およびその他の国における登録商標または商標です。

ドライバーソフトウェアのインストール

ダウンロードした圧縮ファイルの中にあるインストーラー(Setup.exe)を使って、お客様のパソコンへドライバーソフトウェアをインストールします。圧縮ファイルはお客様がダウンロードした際に指定したフォルダに保存されています。

🖉 メモ

・ Mac OS X の場合はドライバーソフトのインストールは不要です。

① 本機をパソコンと USB ケーブルで接続し、本機の電源を入れる。



InstallShield ウィザードが表示されます。



③ 【次へ】をクリックする。



④ 【インストール】をクリックする。

Pioneer USB Audio Device
インストール準備の完了 インストールを開始する準備が整いました。
[インストール] をクリックしてインストールを開始してください。
インストール設定を確認または変更する場合は、「戻る」を効わします。ウイザードを終了するには、「キャンセル」を効わ します。
installShield

下記の画面表示になります。手順⑤の画面になるまでしばらくお待ちください。

Pioneer USB Audio Device	×
ቒፇት7ፇ 7*	
InstallShield(R) Wizard は Pioneer USB Audio Device をインストールしています	
{ンスト~ル中	
InstallShield	キャンセル

⑤ 【完了】をクリックする。

Pioneer USB Audio Device	
4	InstallShield Wizard の完了 InstallShield Wizard (は、Pioneer USB Audio Device を正常に インストールしました。このフロゲラムを使用する前に、コンピュータを再起動する必 要があります。
	< 戻る(日) 完了 キャンセル

ドライバーソフトウェアのインストールを終了します。

⑥ パソコンを再起動する。

手順終わり

■ ドライバーソフトウェアのアンインストール

- パソコン画面の左下の【スタート】をクリックし、【設定】⇒【コントロールパネル】 を開く。
- ② コントロールパネルの中から【プログラムの追加と削除】を選択する。
- ③ 【Pioneer USB Audio Device】を選択し、【削除】をクリックする。 アンインストールのダイアログが表示されます。
- (次へ)をクリックして、アンインストールを実行する。
 ドライバーソフトウェアのアンインストール(削除)を終了します。
- ⑤ パソコンを再起動する。

困ったとき(Windows XP の場合)

Windows Vista をお使いの方は <u>6 ページ</u>を、Windows 7 をお使いの方は <u>10 ページ</u>を、 Mac OSX をお使いの方は <u>14 ページ</u>をご覧ください。

1. 音声が出ないとき

N-50 の電源がスタンバイであったり、入力が Digital In USB ではない場合にはパソコン側 の再生ソフトを起動しないでください。入力を Digital In USB に切り替えた後にパソコンの 再生ソフトを起動してください。

- ① 【スタート】⇒(【設定】⇒) 【コントロールパネル】⇒ 【システム】をクリックする。
- ② 【ハードウェア】のタブをクリックし、【デバイスマネージャ】をクリックする。
- ③【USB(Universal Serial Bus) コントローラ】をクリックし、【USB 複合デバイス】が登録されていることを確認する。



 ④【サウンド、ビデオ、およびゲームコントローラ】をクリックし、【Pioneer USB Audio Device】が登録されていることを確認する。



上記表示がない場合は、N-50の入力が Digital In USB であることを確認してから、ケーブルを挿入し直すか、電源を一度スタンバイにしてからオンにし直すと再認識されます。

- ⑤ 【スタート】 ⇒ (【設定】 ⇒) 【コントロールパネル】 ⇒ (【サウンド、音声 およびオー ディオデバイス】) ⇒ 【サウンドとオーディオデバイス】をクリックする。
- ⑥ サウンドとオーディオのプロパティを開く。





 ⑦ 【オーディオ】のタブの「音の再生」の既定のデバイスに「Pioneer USB Audio Device」と表示されていることを確認する。

⇒ 他のデバイスが選択されている場合は、「Pioneer USB Audio Device」を選択して から【適用】をクリックし、設定を変更する。

サウンドとオー	-ディオ デバイ	<i>、</i> スのプロど	לדֿז		? 🗙
	音 <u>量</u> ディオ	2) 2 =	サウンド	
∼音の再生			∍₽		<u>~</u>
0	既定のデバイ. Pioneer USE	ג(<u>D</u>): Audio De De מ	vice		_
	Pioneer USE SoundMAX I	3 Audio De Digital Aud	vice io		
绿音	既定のデバイ. SoundMAX	ス(<u>E</u>): Digital Aud	io		~
			音量(<u>0</u>)		
- MIDI 音道	楽の再生── ───────────	7 (F)·			
	Microsoft G	nv⊑∧ S Wavetabl	e SW Synth		~
			音量(<u>M</u>)) バージョン情	昔幸服(<u>B</u>)
□既定の	デバイスのみ使.	用する(<u>U</u>)			
		OK	*	*ンセル -	適用(<u>A</u>)

- ⑧ 設定を有効にするために、パソコンを再起動する。
- ご使用の再生プレーヤーのボリュームが最大になっていることを確認する。
 ご使用の再生プレーヤーに出力プラグイン設定がある場合は、「Pioneer USB Audio Device」が選択されていることを確認する。

手順終わり

2.0S エラー音をスピーカーから出したくないとき

初期のOSの設定では、本機を通し、スピーカーからOS起動音、エラー音などが出力されます。 音楽信号以外を再生させたくない場合は、下記設定を行うとこれらの音声を出力されないようにできます。

- 【スタート】⇒【コントロールパネル】⇒【サウンドとオーディオデバイス】の プロパティを開く。
- 【サウンド】タブのサウンド設定で「サウンドなし」を選択し、【適用】をクリックする。

ナウンドとオーディオ デバイスのプロパティ 📀 🔀
オーディオ 音声 ハードウェア
音重 サウンド設定は、Windows とブログラムのイベントに適用されるサウンドのセットで す。既存の設定を選んだり、修正した設定を保存できます。
サウンド設定(2):
サウンドなし
名前を付けて保存(正) 削除(D)
するサウンドを選んでください。変更内容を新しいサウンド設定として保存できます。 プログラム イベント(P): 「「Windows
Select Show Toolbar Band
Windowsの起動 Windowsの終了 Windows ログオフ
サウンド(⑤):
(なし) 参照(8)
OK キャンセル 適用(<u>A</u>)

困ったとき (Windows Vista の場合)

Windows XP をお使いの方は <u>4 ページ</u>を、Windows 7 をお使いの方は <u>10 ページ</u>を、 Mac OSX をお使いの方は <u>14 ページ</u>をご覧ください。

1. 音声が出ないとき

N-50 の電源がスタンバイであったり、入力が **Digital In USB** ではない場合にはパソコン側 の再生ソフトを起動しないでください。入力を **Digital In USB** に切り替えた後にパソコンの 再生ソフトを起動してください。

- 【スタート】⇒【コントロールパネル】⇒【システムとメンテナンス】⇒【システム】
 をクリックする。
- ② タスクから【デバイスのマネージャ】をクリックする。



③ 【サウンド、ビデオ、およびゲームコントローラ】をクリックし、【Pioneer USB Audio Device】が登録されていることを確認する。



 ④ 【ユニバーサルシリアルバスコントローラ】をクリックし、【USB 複合デバイス】 が登録されていることを確認する。



上記表示がない場合は、N-50の入力が Digital In USB であることを確認してから、ケーブルを挿入し直すか、電源を一度スタンバイにしてからオンにし直します。

⑤ 【スタート】→【コントロールパネル】→【ハードウェアとサウンド】→【サウンド】 をクリックする。

 ⑥ 【再生】のタブの「スピーカー」に「Pioneer USB Audio Device」が既定の デバイスとしてチェックマークが表示されていることを確認する。

⇒ 他のデバイスが選択されている場合は、「Pioneer USB Audio Device」をクリック して選択し、「規定値に設定 (S)」ボタンを押す。

🐳 サウンド	×
再生録音サウンド	
下のデバイスの再生デバイスを選択してその設定を変更してください:	
スピーカー High Definition Audio デバイス 接続されていません	
ヘッドホン High Definition Audio デバイス 接続されていません	
スピーカー Pioneer USB Audio Device 動作中	
構成(<u>C</u>) 概定値(に設定(<u>S</u>) プロパラ	F-√(<u>P</u>)
OK キャンセル 通	箇用(<u>A)</u>

 「スピーカー」(「Pioneer USB Audio Device」)をダブルクリックしてプロパ ティを開く。

手順続く

⑧ 【レベル】のタブの中から、スピーカー スライダーを最大にする。

スピーカーボタン (バランスボタンの左) にミュートマークがついていたら、クリックし、 ミュートをはずす。

全般 レベル スピーカー 100 (1) 100 (1) (1) ビベル (1) (1) ビベル 適用(Δ)	スピーカーのプロパティ	X
	全般 レベル 詳細	
100 () () () () () () () () () () () () () (
100 (1) パランス(B) (100 (1) パランス(B) (100 (1) パランス(B) (100 (1) パランス(B) (100 (1) パランス(B) (100 (1) パランス(B) (100 (1) パランス(B)	スピーカー	
K キャンセル 適用(A)	100 (m) パランス(B)	
OK キャンセル 適用(A)		
OK<		
OK キャンセル 適用(A)		
OK キャンセル 適用(A)		
OK キャンセル 適用(A)		
OK キャンセル 適用(A)		
OK キャンセル 適用(A)		
OK キャンセル 適用(A)		
OK 年ャンセル 適用(A)		
OK キャンセル 適用(A)		
OK *ャンセル 道用(A)		
OK キャンセル 適用(A)		
	OK キャンセル 適用(<u>/</u>	Ð

ご使用の再生プレーヤーのボリュームが最大になっていることを確認する。
 ご使用の再生プレーヤーに出力プラグイン設定がある場合は、「Pioneer USB Audio Device」が選択されていることを確認する。

2.0S エラー音をスピーカーから出したくないとき

初期のOSの設定では、本機を通し、スピーカーからOS起動音、エラー音などが出力されます。 音楽信号以外を再生させたくない場合は、下記設定を行うとこれらの音声を出力されないようにできます。

- 【スタート】⇒【コントロールパネル】⇒【ハードウェアとサウンド】⇒【サウンド】
 を開く。
- 【サウンド】タブのサウンド設定で「サウンドなし」を選択し、【適用】をクリックする。

↓ サウンド	×
再生 録音 サウンド	
サウンド設定は、Windows とプログラムのイベントに適用されるサウ トです。既存の設定を選んだり、変更した設定を保存できます。	ンドのセッ
サウンド設定(出):	
Windows 標準 (変更) ▼ 名前を付けて保存(⊻)	削除(<u>D</u>)
Windows 標準 ヴラム イベントをクロックレ	7.706
サウンドなし りな イベンドをラブラブで	して保存
Windows 標準 (変更) CCより。	
プログラム イベント(<u>E</u>):	
■ Windows 	
🖞 Windows ユーザー アカウント制御	
·····································	
	-
✓ Windows スタートアップのサウンドを再生する(P)	
(なし) ・ テスト(工) 参照	₹(<u>B</u>)
OK キャンセル	適用(<u>A</u>)

手順終わり

3. パソコンから出力される音声データのサンプリング周波数の設定

再生するファイルのサンプリング周波数と、転送するサンプリング周波数をあわせることに より、周波数変換を行わずに転送することができます。 高いサンプリング周波数が設定されているとパソコンのスペックが低い場合、音声再生に乱 れが生じることがあります。

その場合は、ビット数 / 周波数を「2 チャンネル、24 ビット、44100 Hz」などの低いレートに設定してください。

- 【スタート】⇒【コントロールパネル】⇒【ハードウェアとサウンド】⇒【サウンド】
 をクリックする。
- 【再生】タブの「スピーカー」で「Pioneer USB Audio Device」をダブルクリックし、スピーカーのプロパティを表示する。

📢 サウンド	X
再生錄音	サウンド
下のデバイ	スの再生デバイスを選択してその設定を変更してください:
	スピーカー High Definition Audio デバイス 接続されていません
	ヘッドホン High Definition Audio デバイス 接続されていません
0,	スピーカー Pioneer USB Audio Device 動作中
構成(<u>C</u>) 既定値に設定(<u>S</u>) プロパティ(<u>P</u>)
	OK キャンセル 適用(A)

③ 【詳細】タブの既定の形式から、出力したいサンプリング周波数を選択し、適用 をクリックする。

┋ スピーカーのプロパティ	×
全般レベル詳細	
既定の形式	ור
共有モードで使用されるサンプル レートとビットの深さを選択します。	
15 ビット 44100 H= (CD の辛労)	
16 ビット、44100 Hz (CD の音質)	
16 ビット、46000 Hz (DVD の自用) # 16 ビット 96000 Hz (フタジオの音響)	
16 ビット、192000 Hz (スタジオの音質)	
24 ビット、44100 Hz (スタジオの音質) きろようにする	
24 ビット、48000 Hz (スタジオの音質)	
24 ビット、96000 Hz (スタジオの音質)	
24 ビット、192000 Hz (スタジオの音質)	
MUALIEIC/X 9 (D)	
OK キャンセル 適用(A)	

困ったとき(Windows 7 の場合)

Windows XP をお使いの方は $4 \overset{- \vee - \vee}{2}$ を、Windows Vista をお使いの方は $6 \overset{- \vee - \vee}{2}$ を、 Mac OSX をお使いの方は $14 \overset{- \vee}{- \vee}$ をご覧ください。

1. 音声が出ないとき

N-50 の電源がスタンバイであったり、入力が Digital In USB ではない場合にはパソコン側 の再生ソフトを起動しないでください。入力を Digital In USB に切り替えた後にパソコンの 再生ソフトを起動してください。

- 【スタート】⇒【コントロールパネル】⇒【システムとセキュリティ】をクリッ クする。
- 【システム】の中の【デバイスマネージャ】をクリックする。
- ③ 【サウンド、ビデオ、およびゲームコントローラ】をクリックし、【Pioneer USB Audio Device】が登録されていることを確認する。

④ 【ユニバーサルシリアルバスコントローラ】をクリックし、【USB Composite Device】が登録されていることを確認する。

上記表示がない場合は、N-50の入力が Digital In USB であることを確認してから、ケーブルを挿入し直すか、電源を一度スタンバイにしてからオンにし直します。

⑤ 【スタート】⇒【コントロールパネル】⇒【ハードウェアとサウンド】⇒【サウンド】 をクリックする。

手順続く

 ⑥ 【再生】のタブの「スピーカー」に「Pioneer USB Audio Device」が既定の デバイスとしてチェックマークが表示されていることを確認する。

⇒ 他のデバイスが選択されている場合は、「Pioneer USB Audio Device」をクリック して選択し、「規定値に設定 (S)」ボタンを押す。

・サウンド ×
再生録音サウンド連信
下の再生デバイスを選択してその設定を変更してください:
スピーカー High Definition Audio デバイス 接続されていません
ヘッドホン High Definition Audio デバイス 接続されていません
<mark>スピーカー</mark> Pioneer USB Audio Device 既定のデバイス
構成(<u>C</u>) 既定値に設定(<u>S</u>) ▼ プロパティ(<u>P</u>)
OK キャンセル 適用(<u>A</u>)

 「スピーカー」(「Pioneer USB Audio Device」)をダブルクリックしてプロパ ティを開く。

⑧ 【レベル】タブを選択し、スピーカー スライダーを最大にする。

スピーカーボタン (バランスボタンの左) にミュートマークがついていたら、クリックし、 ミュートをはずす。

□ スピーカーのプロパティ	
全般レベル詳細	
スピーカー	100 (V) /(5>ス(<u>B</u>)
	OK キャンセル 適用(<u>A</u>)

⑨ ご使用の再生プレーヤーのボリュームが最大になっていることを確認する。

ご使用の再生プレーヤーに出力プラグイン設定がある場合は、「Pioneer USB Audio Device」が選択されていることを確認する。

2.0S エラー音をスピーカーから出したくないとき

初期のOSの設定では、本機を通し、スピーカーからOS起動音、エラー音などが出力されます。 音楽信号以外を再生させたくない場合は、下記設定を行うとこれらの音声を出力されないようにできます。

- 【スタート】⇒【コントロールパネル】⇒【ハードウェアとサウンド】⇒【サウンド】
 を開く。
- 【サウンド】タブのサウンド設定で「サウンドなし」を選択し、【適用】をクリックする。

🛞 サウンド	×
再生 録音 サウンド 通信	
サウンド設定は、Windows とプログラムの 存の設定を選んだり、変更した設定を保ィ	Dイベントに適用されるサウンドのセットです。既 字できます。
サウンド設定(日):	
Windows 標準 ▼	名前を付けて保存(⊻) 削除(D)
Windows 標準 うたたね キャラクター	ラムイベントをクリックしてから、適用するサウ ウンド設定として保存できます。
サウンドなし サバンナ ソナタ	
フルース ラーガ 気まぐれ 祝祭 庭園 伝統 都市	則御
風景和弦	事生する(<u>P</u>)
(&L)	▼ ▶ テスト(工) 参照(<u>B</u>)
	K キャンセル 適用(<u>A</u>)

手順終わり

3. パソコンから出力される音声データのサンプリング周波数の設定

再生するファイルのサンプリング周波数と、転送するサンプリング周波数をあわせることに より、周波数変換を行わずに転送することができます。 高いサンプリング周波数が設定されているとパソコンのスペックが低い場合、音声再生に乱 れが生じることがあります。

その場合は、ビット数 / 周波数を「2 チャンネル、24 ビット、44100 Hz」などの低いレートに設定してください。

- 【スタート】⇒【コントロールパネル】⇒【ハードウェアとサウンド】⇒【サウンド】
 をクリックする。
- 【再生】タブの「スピーカー」で「Pioneer USB Audio Device」をダブルクリックし、スピーカーのプロパティを表示する。

🛞 サウンド	X
再生録音サウンド通信	
下の再生デバイスを選択してその設定を変更し	ノてください:
スピーカー High Definition Audio デパ・ 接続されていません	12
	(ス
<mark>スピーカー</mark> Pioneer USB Audio Device 既定のデバイス	
構成(<u>C</u>)	既定値に設定(<u>S)</u> ▼ プロパティ(<u>P)</u>
ОК	キャンセル 適用(A)

手順続く

③ 【詳細】タブの既定の形式から、出力したいサンプリング周波数を選択し、適用 をクリックする。

全般 レベル 詳細
- 既定の形式
共有モードで使用されるサンプル レートとビットの深さを選択します。
16 ビット、44100 Hz (CD の音質) ・ トラスト(I)
16 ビット、48000 Hz (CD の音質) 16 ビット、48000 Hz (DVD の音質)
損16ビット、88200 Hz (スタジオの音質) 16ビット、96000 Hz (スタジオの音質)
☑ 16 ビット、192000 Hz (スタジオの音質) 24 ビット、44100 Hz (スタジオの音質)
24 ビット、48000 Hz (スタジオの音質) 24 ビット、96000 Hz (スタジオの音質) 24 ビット、96000 Hz (スタジオの音質) 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 1
24 ビット、192000 Hz (スタジオの音質)
既定値に戻す(D)
OK キャンセル 適用(A)

困ったとき(Mac OSX の場合)

Windows XP をお使いの方は $4 \overset{- \vee - \vee}{2}$ を、Windows Vista をお使いの方は $6 \overset{- \vee - \vee}{2}$ を、Windows 7 をお使いの方は $10 \overset{- \vee - \vee}{2}$ をご覧ください。

1. 音声が出ないとき

N-50 の電源がスタンバイであったり、入力が **Digital In USB** ではない場合にはパソコン側 の再生ソフトを起動しないでください。入力を **Digital In USB** に切り替えた後にパソコンの 再生ソフトを起動してください。

- ① 【システム環境設定】⇒【サウンド】をクリックする。
- ②「出力」タブを選択し、「サウンドを出力する装置を選択」で「Pioneer USB Audio Device」を選択する。

	サウンド	
サウンドを出力する装置	・ サウンドエフェクト 出力 入力	
名前	種類	
内蔵スピーカー	内蔵	
Pioneer USB Audio Dev	ice USB	
選択した装置の設定:	選択した装置には、出力コントロールがありません	?
オーディオポートの使用目	a的: <u>サウンド出力</u> 音量: ■ <u></u> → <u></u>	

上記表示がない場合は、N-50の入力が Digital In USB であることを確認してから、ケーブルを挿入し直すか、電源を一度スタンバイにしてからオンにし直します。

Ŧ	順終わ	b 🗾

2.0S エラー音をスピーカーから出したくないとき

初期の OS の設定では、本機を通し、スピーカーから OS 起動音、エラー音などが出力されます。 音楽信号以外を再生させたくない場合は、下記設定を行うとこれらの音声を出力されないようにできます。

- ① 【システム環境設定】をクリックし、【サウンド】を開く。
- ② 【サウンドエフェクト】を選択し、「サウンドエフェクトの再生装置」で「内蔵ス ピーカー」にチェックする。

 ● ○ ○ ■ ● ■ すべてを表示 	לעל ע Q	
警告音を選択:	サウンドエフェクト 出力 入力	
名前	種類	
Basso	内蔵	_
Blow	内蔵	
Bottle	内蔵	
Frog	選択したサウンド出力装置	
サウンドエフェクトの再生装置 警告音の音量	✓ 内蔵スピーカー Pioneer USB Audio Device	
	🗹 ユーザインターフェイスのサウンドエフェクトを再生	
	✓ 音量を変更するときにフィードパックを再生	?
オーディオポートの使用目的 主音量	:: サウンド出力 ; :: ◀ ↓ ↓ 〕 消音 ♥ メニューバーに音量を表示	

③ 「出力」タブを選択し、「サウンドを出力する装置を選択」で「Pioneer USB Audio Device」にチェックする。

	אכניע	
すべてを表示	(2
	サウンドエフェクト 出力 入力	
サウンドを出力する装置を過	選択:	
名前	種類	
内蔵スピーカー	内蔵	
Pioneer USB Audio Device	e USB	
深口! た装置の設定:		
現代した影響の設定。		
1001000		
選	訳した装置には、出力コントロールがありません	
選	択した装置には、出力コントロールがありません	
選	択した装置には、出力コントロールがありません	
選	訳した装置には、出力コントロールがありません	
X	扱した装置には、出力コントロールがありません	(
選	択した装置には、出力コントロールがありません	(
J.	訳した装置には、出力コントロールがありません	(
選 オーディオポートの使用目的	 (扱した装置には、出力コントロールがありません (サウンド出力 ;) 	(
選 オーディオポートの使用目的	扱した装置には、出カコントロールがありません 的: (サウンド出力 ;)	(
選 オーディオポートの使用目 主音音	扱した装置には、出カコントロールがありません 約: サウンド出力 : ■: ■ ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	() 消音
選 オーディオポートの使用目 主音員	(駅した装置には、出カコントロールがありません (): (サウンド出力 :) R: ■ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	(

3. パソコンから出力される音声データのサンプリング周波数の設定

再生するファイルのサンプリング周波数と、転送するサンプリング周波数をあわせることに より、周波数変換を行わずに転送することができます。

 【Finder】⇒【アプリケーション】⇒【ユーティリティー】の中から【Audio MIDI 設定】をクリックする。

000	🔤 アプリケーション
	₩ ■ • • • • • • • • •
よく使う項目	名前
旦 マイファイル	◎ 辞書
	■ 計算機
AirDrop	🕨 🕅 ユーティリティ
🔜 デスクトップ	🐼 プレビュー
🔥 アプリケーション	🞯 テキストエディット
□□ 津 粕	♣ チェス
	🐵 スティッキーズ
共有	図 システム環境設定
デバイフ	驅 イメージキャプチャ
	📔 アドレスブック
	Ime Machine
	🍥 Safari
	🍇 Remote Desktop Connection
	🔇 QuickTime Player
	🌄 Photo Booth

000 🕅 ユーティリティ >> 名前 変更日 よく使う項目 AirMac ユーティリティ 2011年5月) 📃 マイファイル 💮 AppleScript エディタ 2011年5月) AirDrop Mudio MIDI 設定 🔜 デスクトップ 🕹 Bluetooth ファイル交換 2011年7月) 📓 Boot Camp アシスタント 2011年6月 🔊 アプリケーション 🗶 ColorSync ユーティリティ 2011年6月 | 書類 Ø DigitalColor Meter 2011年6月 共有 Grapher 2011年5月) Java Preferences 2011年6月 デバイス Podcast Capture 2011年6月 🖾 iDisk Podcast Publisher 2011年6月) 💓 RAID ユーティリティ 2011年7月) 🝈 VoiceOver ユーティリティ 2011年6月 X X11 2011年7月 アクティビティモニタ 2011年8月

- Pioneer USB Audio Device」を選択する。
- ③ オーディオファイルに合わせて、ビットレート / サンプリング周波数を選択する。

<各窓口へのお問い合わせの時のご注意>

「0120」で始まる 🛄 フリーコールおよび 🕼 フリーコールは、携帯電話・PHS・一部の I P電話 などからは、ご使用になれません。

また、【一般電話】は、携帯電話・PHS・IP電話などからご利用可能ですが、通話料がかかります。 正確なご相談対応のために折り返しお電話をさせていただくことがございますので発信者番号の通知に ご協力いただきますようお願いいたします。

ご相談窓口のご案内 ※番号をょくお確かめの上でおかけいただきますようお願いいたします

パイオニア商品の修理・お取り扱い(取り付け・組み合わせなど)については、お買い求めの販売店様へ お問い合わせください。

商品についてのご相談窓口

● 商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求について

カスタマーサポートセンタ	?ー(全国共通フリーコール)
受付時間 月曜~金曜9:30~18:00、	土曜9:30~12:00、13:00~17:00(日曜・祝日・弊社休業日は除く)
■家庭用オーディオ/ビジュアル商品	🔀 0120-944-222 -級電話 044-572-8102
■ファックス	044-572-8103
■インターネットホームページ	http://pioneer.jp/support/ ※商品についてよくあるお問い合わせ・メールマガジン登録のご案内・お客様登録など

修理窓口のご案内

※番号をよくお確かめの上でおかけいただきますようお願いいたします

修理をご依頼される場合は、取扱説明書の『故障かな?と思ったら』を一度ご覧になり、故障かどうかご確認 ください。それでも正常に動作しない場合は、①型名②ご購入日③故障症状を具体的に、ご連絡ください。

修理についてのご相談窓口

● お買い求めの販売店に修理の依頼が出来ない場合

修理受付窓口	
受付時間 月曜~金曜9:30~18:00、土曜	9:30~12:00、13:00~17:00(日曜・祝日・弊社休業日は除く)
	0120-5-81028 一般電話 044-572-8100
■ファックス <u>€</u>	0120-5-81029
■インターネットホームページ	http://pioneer.jp/support/repair/ ※家庭用オーディオ/ビジュアル商品はインターネットによる修理のお申し込みを受付けております
沖縄サービス認定店(沖縄県	ወみ)
受付時間 月曜~金曜9:30~18:00(土曜	・日曜・祝日・弊社休業日は除く)
■一般電話	098-987-1120
■ファックス	098-987-1121

部品のご購入についてのご相談窓口

● 部品(付属品、リモコン、取扱説明書など)のご購入について

部品受注センター	
受付時間 月曜~金曜9:30~18:00.	、土曜9:30~12:00、13:00~17:00(日曜・祝日・弊社休業日は除く)
■電話	📢 0120-5-81095 一般電話 044-572-8107
■ファックス	(120-5-81096)

平成23年7月現在 記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。

VOL.045

パイオニア株式会社

© 2011 パイオニア株式会社 禁無断転載